NEKO MOOK 470スクーデリア

SCUDERIA

MAGAZINE FOR FERRARISTI 43

Technical Features Result Collections

F92A/AT

375MM Pininfarina Berlinetta S/N：0490AM
Scuderia Ferrari 2002 Review
My Favorite Ferrari　Tour de Espana
Bonhams Gstaad Ferrari Auction

歴史を感じる建物の前に並ぶのは250GTクーペ・エレナ（S/N：0693GT）、250GT　SWB（S/N：2177GT）と、ロング・ノーズの275 GTB（S/N：7181）。

1972-2002
Ferrari Owners Club Swizerland

The 30th Anniversary Meet

Oct.11-13.2002

text & Photo：Marcel Massini
transration：Hiroshi Yoshida（吉田　弘）

湖畔の古城で開催された30周年記念イベント

スイスは小さな国にもかかわらず多くのフェラーリやそのオーナーたちが住んでいることは本誌41号でも紹介している。なかでも今回紹介するフェラーリ・オーナーズ・クラブ・スイッツランドは、今年創立30周年を迎えた長い歴史を持つクラブだ。その創立30周年を祝うイベントが、コンスタンス湖に面した古城を舞台に開催され、多くのオーナーと共に、数々の歴史的なモデルから最新のモデルまでが集まった。

1972年はフェラーリにとってとても忙しい年であった。マラネロのフェラーリ・ファクトリーは創業から25年経ち、数々のクルマを造っていた。彼らは365GTB/4デイトナ・ベルリネッタ、365GTC/4クーペ・ピニンファリーナ、ディーノ246GTとGTSを造っている。1972年はまた、グランプリ・レーシングの分野でも非常に活気ある年であり、スイスのクレイ・レガッツォーニ、ベルギーのジャッキー・イクス、そしてアメリカのマリオ・アンドレッティ、イタリアのナンニ・ガリが活躍していた。またメイクスのワールド・チャンピオンシップを賭けた戦いでは312PBが圧倒的強さを見せ、完全に世界を支配していたのだ。

1972年はまた、フェラーリ・オーナーズ・クラブ・オブ・スイッツランドが3人のフェラーリ・オーナーたちにより設立された年でもある。バーゼルに住む2人の銀行経営者、マウリス・ラブハルトとチャールズ・G・ルナウド、ジュネーブの工場経営者、ピーター・F・バウンベルガーたちは、最初となるスイスのフェラーリ・クラブを創り出すにはうってつけの男達だった。設立のための会合は、1972年の中頃、ルッツェルンにあるスイス交通博物館において開かれた。その時、ラブハルトは250GTルッソを、ルナウドはもう1台のルッソ、275GTS、275GTBと212インテル・カブリオレ・ピニャーレを所有していた。バウンベルガーは1960年代初めに250GT SWBベルリネッタを既に購入しており、また彼の継子は3台の275GTB/4で1967年シーズンにヒルクライムを闘っていたのだ。

新しいフェラーリ・クラブは、もともとはスイスのブガッティ・エンスージァストたちも含まれており、そのクラブは適切なことにブガッティ・フェラーリ・オーナーズ・クラブ・スイッツランド（本部は英国）と呼ばれていたのだ。

1984年に新しい会長として、精力的で大変に博学なソロサーンのグリー・シャー氏が就任し、高いレベルを保つため、メンバーの数を200名に限定し、毎年2度の会合を春、秋に実施してきた。それに加え、小さなミーティングもその間に何度か開催されている。

1990年代初めにスイスのフェラリスタたちはブガッティ・オーナーたちと分離し、そのクラブの名前もフェラーリ・オーナーズ・クラブ・スイッツランド（FOCS）と改称された。

FOCSの30周年目を記念する会合が2002年10月11日から13日にかけての週末に開かれることとなり、その会場としてコンスタンス湖が選ばれた。コンスタンス湖にあるマイナウ島とリッヘナウは魅力的な景色であり、訪れる人々は船遊び、ハイキング、サイクリングやゴルフなどを楽しむことができた。

今回、クラブのホームベースとして選ばれたのは、コンスタンスの小さなプライベート・アイランドにある、センセーショナルで歴史的な魅力を持ったステイゲンベルガー・アイランド・ホテルだった。ホテルからは無類の美しさを秘めた湖の姿を眺められた。そのホテルは元ドミニコ会の修道院で、そこに備えられたフレスコ壁画が、13世紀までさかのぼる輝かしい栄光の歴史を反映している。

60人のフェラーリ・オーナーたちとクラブのメンバーは金曜日の午後にコンスタンスに到着した。スイス国内だけでなく隣国のオーストリア、ドイツやフランスからもゲストが集まった。宴会はコンスタンス湖に浮かぶ、1913年に建造された素晴らしい蒸気船の上で始まった。700万USドル以上の経費を費やし、美しく念入りにレストアされた著名な船“ホーヘントウィル”はその晩のナイト・ツアーにも使用された。すべてがきちんと備わったクルーとシェフは、最上級の料理と地元の特産品を用意し、ゲストの人々を楽しませていた。

土曜日はラリーの日だった。それぞれのメンバーはロードブックを受け取り、その地域を巡る、くつろぎ興味深いツアーに向かうため、ホテルの前をスタートした。昼食はゲーリンゲンのキャッスル・レインベルグで、イタリアン・リゾットや他のおいしい食事が用意された。そこではまた、フェラーリについて、FOCSについて、などたくさんのクイズが用意されていた。多くのメンバーにとっても回答が難しい初期のフェラーリについて、またレース、企業やクラブについての問題も含まれた。さらにはクラブが創立された1972年に造られたフェラーリについて、また環境保護論者でありながら赤いデイトナを所有したまま一度も乗った事が無く、退会させられたスイスの政治家についての問題もあった。ちなみに彼は自転車愛好家としてメディア受けを狙っているのだ。

土曜日は30周年を記念するディナーが、ステインベルガー・ホテルのボールルームで催された。そこは歴史的なフレスコ画とゴシック様式の円柱を備えた元ドミニコ会修道院の身廊部分だ。

その晩の名誉あるゲストとして、マラネロのフェラーリ・ファクトリーからドクター・カルロ・タッツィオリがやって来た。また2人の素晴らしい女性アーティストは何曲ものミュージカルを歌いゲストたちを楽しませていた。ディナーの間、ボールルームの前には1950年代から2002年までに作られた8台の12気筒フェラーリが展示され、FOCSのメンバーにクルマの方へと気持ちを引き付けていた。

その週末、そこに来ていた最も古いフェラーリはコンラッド・ルッツィンガーが持ち込んだダークレッドの250GTエレナだ。最初はアメリカのオーナーにデリバリーされたこのS/N：0693GTは1996年からスイスのオーナーの許にいる。コンスタンスの別の古いモデルは、アンドレアス・フェイゲンウィンダーが所有するメタリック・グレイの250GTクーペで、テキサスで数年を過していた歴史を持っている。ゴージャスなショート・ノーズの275GTBはハンツノッターが連れてきた。何台かの250GTルッソ、3台のデイトナ、ブライト・イエローの330GTCと2台のシリーズ1　330GT 2+2もオールド・フェラーリの仲間に入っていた。ビクター・ブロックリンガーは誇らしげに彼のオレンジのロング・ノーズ275GTB（S/N：7181）を展示していた。それは過去35年間、完璧に仕舞い込まれていたものだった。かれはスイスのフェラーリ・エース・ドライバーのヘルベルト・ミューラーから1967年に買い取った。オーストリアのジャン・ロベルト・グレビットは、黄色の250GT SWBベルリネッタ（S/N：2177GT）を持ち込んだが、これは165台しか造られなかったうちの47台目となる、スイスのドライバー、アーマンド・ボラー、ジョセフ・シファートやワルター・リンゲンベルグがレースをしていたクルマそのものだ。

FOCSミーティングはたくさんの新しいフェラーリも集まった。すべてのタイプのモダンな8気筒マシーン、いくつかの365と512ベルリネッタ・ボクサー、何台かの550マラネロと456GTに加え、3台の550バルケッタも含まれた。

バルケッタのうちの1台は、いささか見苦しい姿をした、スイスのアフターマーケット製ハードトップを装着していたが、そのクルマはBFOCS創設者であるメンバーの息子、フランシス・ラブハルトが持ち込んだものだった。

日曜の朝、フェラーリ・ドライバーはホテルを出発し、コンスタンス湖に浮かぶベルナドッテ伯爵夫妻が所有するプライベート・アイランドを目指した。その花の島はバロック調の城郭と教会堂から成っており、美しく手入れのされた芝生とバラ園、柑橘類の森、シュロなどのエキゾチックな異国の植物に囲まれていた。この植物学の王国は1853年、偉大なフレドリック公爵の時代に避暑地として獲得して以来、ずっと同じファミリーの所有物となっている。フェラーリたちは城の中庭と庭園への通路に並べられた。

クラブのメンバーたちは、ソニア・ベルナドッテ伯爵夫人のプライベートな会合に招待され、夫人からはいくつかのプライベート・ルームを回るツアーが提供された。軽食をとった後、さらにパームハウスでランチ・ブッフェが用意された。そこでFOCS会長のクノ・シャーは、それぞれのメンバーや参加者に記念品を手渡した。

初日はかなり寒く、霧が出て時々雨も降る天気だったが、最終日のマイナウはクリアーな青空が広がる絶好の天気に恵まれた。

フェラーリ・オーナーズ・クラブ・スイッツランドの30周年記念のミーティングに出席したフェラリスタたちは、それぞれエンジョイし忘れられないイベントとなったのだ。

FOCS 30th Anniversary, Konstanz, 11-13 October 2002　　Compiled：Marcel Massini

OWNER	TYPE	VIN	PLATES	EXT COLOR	INT COLOR
Bachmann Roland, E-Altea la Vella	328 GTS	ZFFCA20S000082276	ZG 22241	Red	Tan
Baumann Hanspeter, Sirnach	348 GTB	ZFFUA35S000098999	TG 37012	Red	Tan
Beyeler Rudolf, Bern	360 Modena	ZFFYR51B000128723	BE 62226	Silvergreymet	Darkblue
Blochliger Viktor, Reinach	275 GTB longnose	07181	AG 11165-U	Orange	Black
Brandenberger Robert, Baar	456 GTA	ZFFWP50N000106977	ZG 691	Silvergreymet	Darkred
Braumandl Eugen, Zurich	365 GT4 2+2	17549	ZH 18935	Bluemetallic	Black
Bucher Erich, Wollerau	348 ts	ZFFFA36S000087107	SZ 33838	Red	Brown
Cornillie John, Kusnacht	Mondial 3.2	ZFFCD21S000070945	ZH 688 465	Bluemetallic	White
Courtin Thomas, Sils-Baselgia	330 GT 2+2	06393	GR 46250	White	Black
Dellers Bernd, Munchenstein	550 Maranello	ZFFZR49B000121089	BL 12958	Black	Darkred
Diehl Hermann, D-Munchen	328 GTB	ZFFWA19B000077639	M-HD 7080	Darkgreenmet	Cream
Dieziger Walter, St. Gallen	512 BBi	ZFFJA09B000042971	SG 35999	Black	Black
Eigenmann Otto, Dietfurt	512 TR	ZFFLA40S000094916	SG 46891	Red	Tan
Fehlmann Peter, Lenzburg	360 Modena F1	ZFFYR51B000125009	AR 25895	Yellow	Black
Feigenwinter Andy, Reinach	250 GT Coupe PF	1349 GT	BL 11308	Greymetallic	Red
Frene Martial, Langnau	F355 GTS	ZFFXR42B000109844	ZH 204 889	Red	Tan
Friedli Peter, Bellach	348 tb	ZFFFA35S000091129	SO 25712	Red	Tan
Gantenbein Ernst, Haag	348 ts	ZFFFA36S000092512	SG 109348	Red	Black
Gradel Franz, Sumiswald	360 Modena F1	ZFFYR51B000125417	BE 43514	Red	Black
Grellet Jean-Robert, Au	250 GT SWB Berl.	2177 GT	DO MO 1	Yellow	Black
Gutzwiller Adrian, Liestal	512 BB	33513	BL 555	Red-Black	Black
Gysin Daniel, Binningen	348 Challenge	96227	BL 830	Red	Black
Haberthur Werner, Basel	308 GTB QV	ZFFLA12S000048539	BS 13712	Red	Tan
Hauser Christophe, Gland	348 GTS	ZFFFA36S000095854	VD 213590	Red	Tan
Hauser Martin, Erlenbach	250 GT Lusso	5325 GT	ZH 4743	Red	Black
Henderson Albert, Davos-Platz	365 GTB/4 Berlinetta	12735	GR 58-U	Red	Black
Iten Alexander, Neuenkirch	308 Dino GT4	15472	LU 9546	Red	Tan
Jenny Peter, Bettlach	360 Modena F1	ZFFYR51B000116894	SO 15	Azzurro Calif.	Darkblue
Jenzer Rolf, Bern	308 GTB QV	ZFFLA12S000054355	BE 1698	Red	Tan
Kipfer Rolf, Basel	328 GTS	ZFFCA20S000082258	BS 93000	Red	Tan
Kotacka Rene, Elgg	Testarossa	ZFFSA17S000086645	ZH 232 043	Black	Dark red
Kuhn Theo, Suhr	365 GT 2+2	13283	AG 3526	Red	Black
Kumschick Kurt, Nebikon(A# 02824)	F40	ZFFGJ34B000085711	LU 7830	Red	Red
Labhardt Francois M., Basel	550 Barchetta PF	ZFFZR52B000124105	BS 44664	Darkblue	Black
Leirer Fritz, Stein	330 GT 2+2	07161	AR 6408	Turquoise	Tan-Black
Leirer Roland, Stein	356 GTC/4	16001	AR 123-U	Red	Tan
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
Lutziger Koni, Kindhausen	250 GT Ellena	0693 GT	ZH 32671-U	Darkred	Brown
Meister Helmut, Stans	330 GTC	10903	NW 1369	Yellow	Black
Metzger Jorg, Bennwil	400i Automatic	19931	BL 33899	Darkgreenmet	Brown
Meyerhans Jorg, Weinfelden	365 GTB/4 Berlinetta	15111	TG 2627-U	Red	Tan
Muller Rudolf, Zell	360 Modena Chall.	ZFFYR51B000119603	LU 999726	Red	Red
Muller Walter, Allenwinden	Testarossa	ZFFSA17S000091218	FL 90210-Z	Red	Cream
Nafzger Dieter, Bern	365 GT4 2+2	17469	BE 383 341	Bronzemet	Tan
Nievergelt Eduard, Zollikerberg	365 GT4 2+2	18551	ZH 125208	Lightbluemet	Black
Notter Walter, Wohlen	275 GTB shortnose	06949	AG 41	Red	Black
Omlin Jakob, Aarau	308 GTB	32043	AG 3522	Red	Tan
Schneeberger Rolf, Dietlikon	365 GTB/4 Berlinetta	13875	ZH 25801	White	Black
Spielmann Erwin, Rothrist	F355 GTS	ZFFPR42S000102978	AG 159537	Red	Black
Stettler Francesco, Kusnacht	456 GT	ZFFSP44S000101784	ZH 434646	Anthracite	Darkgrey
Studach Jorg, Steinhausen	360 Modena F1	ZFFYR51B000119966	ZG 11094	Yellow	Black
Tschantre Alfred, Bern-Liebefeld	365 GT4 BB	18377	BE150 002	Bluemet-Black	Black
Vollenweider Heini, Grenchen	512 TR	ZFFLA40S000095061	SO 515	Darkblue	Cream
Von Buren Marco, Schnottwil	400i Automatic	38987	SO 2406	Black	Tan
Von Schmieder Wolfgang, Cologny	550 Barchetta PF	ZFFZR52B000124283	FR 87925	Black	Tan
Weissmann Thomas C., Stafa	550 Barchetta PF	ZFFZR52B000124104	ZH 6591	Blu Pozzi	Tan
Wiederkehr Herbert, Wohlen	550 Maranello	ZFFZR49B000114071	AG 6676	Red	Tan
Wyss Bruno, Zofingen	250 GT Lusso	5945 GT	AG 9898-U	Silvergreymet	Red

マーティン・ハウザーが所有する250GT　ルッソ（S/N：5325GT）と、本文でも紹介したBFOCS創設者の子息フランシス・ラブハルトが持ち込んだ、社外品のHTを装着した550バルケッタ。

石畳の前庭に停められたシルバーの250G　ルッソ（S/N：5945GT）は、低く構えた姿が魅力的だ。

コニ・ルッツィンガーが所有する、ダークレッドに塗られたバンパー・レスの250GTエレナ（S/N：0693GT）は、今回参加したフェラーリの中では最古のクルマだった。

緑に囲まれたスイスならではの景色に、溶け込んだフェラーリの群れ。手前の赤と黒の512BBは、エイドリアン・ガッツウィラーが所有するクルマだ。

BB、400iなどモダーンなフェラーリとクラシックな建物のコントラストが、いかにもスイスのイベントらしい情景だ。

今回のFOCSのミーティングには、新旧のフェラーリが60台近く集まった。生憎の天気ではあったが、それぞれ自慢のフェラーリで駆けつけたオーナーたちは、FOCSの30周年を充分に満喫した。

ショート・ノーズの275GTB（S/N：06949）の後ろは前期型の365GTB/4（S/N：12735）が続く。

コンスタンス湖をバックに木陰でパークする330GT　2+2（S/N：06393）と275GTB。

上：珍しいメタリック・ターコイズに塗装された330GT 2+2（S/N：7161）。雨の滴がボンネットに美しく並ぶシーンだ。

下：プレミアム・フェラーリの代表といえるF40も、クラシックな建造物に負けない存在感を持つ。後ろの建物の窓からは、ミーティングを祝して、跳ね馬の大きな垂れ幕が下げられた。